

マツノザイセンチュウから
大切な松を守る

樹幹注入剤

ショットワン・ツー

液剤

飛散の心配なし!



ショットワン・ツー液剤の特長

基本注入量が60mlと少なく、少量タイプの注入剤です。作業性に優れています。

注入に必要とする時間も短く、全体的な作業時間も短縮できます。

マツノザイセンチュウに対し、エマメクチン安息香酸塩は高い増殖阻止活性を示します。

確実な防除効果が6年間持続し、大切な松を守ります。

注入孔が小さい、孔数が少ない、無理な加圧をしない、注入量が少ない、こういった理由から松への負担が少ない薬剤です。

薬剤が飛散する心配もなく、住宅地や畑の近接地でも安心して使用できます。



【成分】
エマメクチン安息香酸塩 : 2.0%
有機溶剤および界面活性剤等: 98.0%

【毒性】
人畜毒性(製剤): 毒物及び劇物取締法
非該当

【包装】
60ml×10本入り

シンジェンタ ジャパン株式会社
井筒屋化学産業株式会社

適用害虫の範囲および使用方法

| 作物名 | 適用害虫 | 使用量 | 使用時期 | 使用回数 | 使用方法 | |
|--|----------------|------------|----------------------------------|------|---------------------------------------|-----------|
| まつ (生立木) | マツノサイ センチュウ | 胸高直径 (樹幹部) | マツノマダラ カミキリ 成虫発生 2ヶ月前まで | 1回 | 樹幹部に注入孔を開け、 注入器の先端を押し込み 樹幹注入する。 | |
| | | 11~15cm | | | | 60ml |
| | | 16~20cm | | | | 60~120ml |
| | | 21~25cm | | | | 120~180ml |
| | | 26~30cm | | | | 180~240ml |
| 30cm以上は胸高直径が5cm増す ごとに60~120mlを増量する。 | | | | | | |

ショットワン・ツー液剤の上手な施工方法

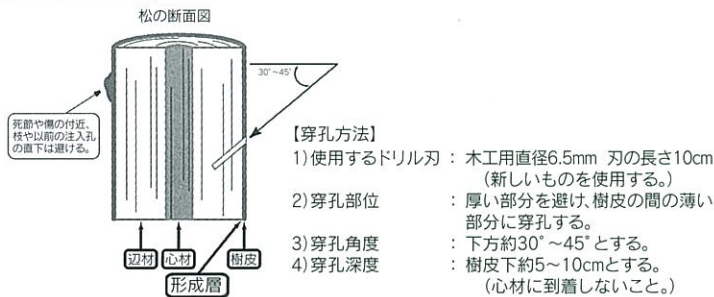
『施工の事前準備』

- ・ 巻尺等使用して胸高直径を測定してください。
- ・ 胸高直径に応じて、薬剤の必要本数を決定してください。
- ・ 対象木に施工ラベルを貼り、施工時に備えてください。
- ・ 対象木の健全性を確認するために、ポンチ等で樹皮を除去し、樹脂量のチェックを行ってください。
- ・ 施工木の記録台帳を作りましょう。

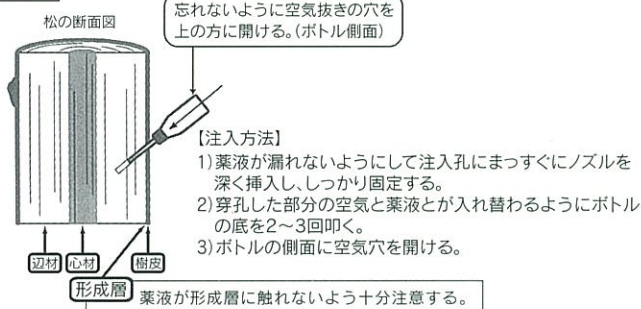
『施工方法』

本剤の注入は晴天の日を選び日中に行ってください。
穿孔、注入、蓋栓の方法を以下に記載しました。

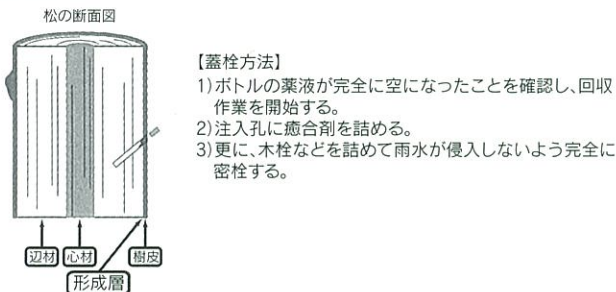
穿孔方法



注入方法



蓋栓方法



『施工用道具一式 (自然圧)』



林尺 木槌 ポンチ ドリル ドリル刃 薬剤
目打ち 木栓(製品付属品) 施工ラベル

標準的な注入量(樹高10~15mの場合)

| 胸高直径(cm) | 注入量(ml) | 本数 |
|----------|---------|-----|
| 11~15 | 60 | 1 |
| 16~20 | 60~120 | 1~2 |
| 21~25 | 120 | 2 |
| 26~30 | 180 | 3 |
| 31~35 | 240 | 4 |
| 36~40 | 300 | 5 |
| 41~45 | 360 | 6 |
| 46~50 | 420 | 7 |
| 51~55 | 480 | 8 |
| 56~60 | 540 | 9 |
| 61~65 | 600 | 10 |
| 66~70 | 660 | 11 |
| 71~75 | 720 | 12 |
| 76~80 | 780 | 13 |
| 81~85 | 840 | 14 |
| 86~90 | 900 | 15 |
| 91~95 | 960 | 16 |
| 96~100 | 1020 | 17 |

別に、専用のガスにより加圧して注入する方法もあります。自然圧よりも注入時間が速くなり、施工効率を高めることができますが、別途専用の加圧注入道具一式が必要となります。お求めの際は下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

株式会社 **イズカ**

〒693-0043 島根県出雲市長浜町337-13
TEL (0853) 28-2688(代) FAX (0853) 28-2802
E-mail: info@izuka.co.jp http://www.izuka.co.jp

井筒屋化学産業株式会社

本社営業本部 熊本市西区花園1丁目11-30
〒860-0072 TEL (096)352-8121(代) FAX (096)353-5083